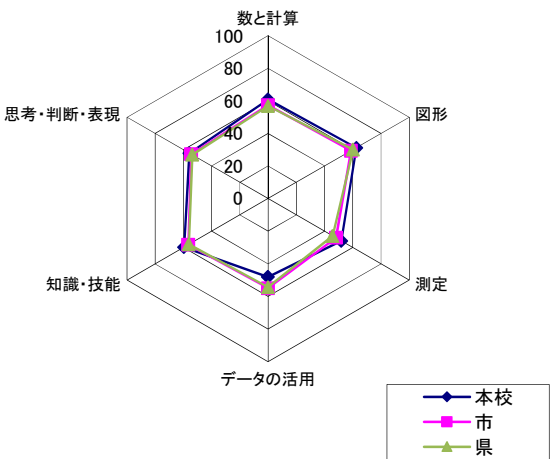


宇都宮市立瑞穂台小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	60.9	57.4	56.9
	図形	62.5	58.7	60.1
	測定	51.8	48.1	45.7
	データの活用	48.1	54.9	54.3
観点	知識・技能	59.6	56.6	56.2
	思考・判断・表現	55.7	54.5	53.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	正答率は市平均をやや上回る(+3.5ポイント)。 ○小数のしくみや表し方の設問ではの正答率は約9割で、おおむね理解できている。 ●余りの考えをもとに計算間違いを言葉で説明する設問の正答率は、2割から3割程度と低い。	・考え方を説明する設問に苦手意識が見られるので、答えをどのように求めたのかを説明したり文章で書いたりする活動を取り入れていく。
図形	正答率は市平均を上回る(+3.8ポイント)。 ○球を平面で切った切り口の形についての設問の正答率は約8割である。 ●二等辺三角形の性質を理解して点を選ぶ設問の正答率は3割程度と低い。	・三角形の性質を理解させるために、日常的に図形の操作活動を多く取り入れる。
測定	正答率は市平均を上回る(+3.7ポイント)。 ○時刻を求める設問の正答率は市平均を上回る。(+4.2ポイント) ●重さの単位の理解やはかりの読み取りの設問の正答率は4割程度で、無回答は2割である。	・重さについての感覚を養うために、学校生活の中で意図的に読み取りの場を設け、繰り返し指導する。
データの活用	正答率は市平均を大きく下回る(-6.8ポイント)。 ●棒グラフの特徴と利点を理解し、適切にグラフを選択したりその理由を説明したりする設問の正答率は41.4%と低く、無回答は4割である。 ●棒グラフを読み取る設問の正答率は5割で、市平均を大きく下回っている。(-10.1ポイント)。	・他教科の学習と関連させ、様々なグラフを活用してデータを読み取れるようにする。 ・日頃から目盛りの違う複数のグラフを比較したり、データをグラフに表す活動を取り入れたりしながら、正確な数値を読み取ることができるよう指導をする。